

## 声優

テレビで「鬼滅の刃『無限列車編』」を見ました。言わずと知れた映画の興行収入歴代1位を記録するほどのヒット作です。世の中が、鬼滅の刃ブームに沸（わ）いているにもかかわらず、私は映画館に足を運びませんでした。この作品を見るのは今回のテレビが初めてとなります。とはいえ、コミック本は読破（どくは）しているためストーリーは分かっています。

アニメの映画やテレビを見ると、エンドロールであるものを探すことがあります。それは、私の教え子の名前です。声優になった生徒がいるのです。M子さんといいます。

どんな状況だったかは忘れてしまいましたが、中学3年生の時にMさんは、私に「声優になります」と言ったのです。私は、そのことをずっと覚えていました。それで、エンドロールになると、Mさんの名前を探すようになったのです。

今回の鬼滅の刃でも探しましたが、見つけることはできませんでした。しかし、ふと「待てよ。声優になっているのであれば、ネットで名前を検索（けんさく）すれば、出てくるのではないか」と思いついたのです。本名かどうかはわからないという不安はありましたが、とりあえず調べてみることにしました。

すると、いとも簡単に出てきました。ウィキペディアにも載っています。「M子は、日本の女性声優。懸樋プロダクション所属。福島県出身。声優ユニット・A i c e<sup>5</sup>のメンバー。」とあります。

出演データを見ると、「それゆけ！アンパンマン」「劇場版ガンダム」などをはじめ、その活躍は、テレビアニメ、劇場アニメ、ゲーム、ドラマ、ラジオドラマ、吹き替え、映画、ナレーション、CMなど、多岐（たき）にわたっています。

27年の時を経て、私はようやく、Mさんが夢を叶え、活躍していることを知ることとなりました。Mさんが中学生当時の「学級通信」を見てみました。一気に記憶が蘇（よみがえ）りました。

吹奏楽部でフルートを吹いていたこと、英語弁論大会で、まるで女優のように身振り手振りを交えながら表情豊かに弁論を披露（ひろう）したことなどが思い出されました。そして、彼女はずっと放送委員を務めていました。

今考えると、放送委員や英語弁論での活躍が、今の彼女の姿につながっているのだと思います。何より、彼女には芯（しん）の強さがありました。だからこそ、私は「彼女なら声優になるのではないか」と思ったのです。私に、そう思わせるものを彼女は持っていたのです。

彼女のつくった詩が、学級通信に残っていました。

私の名前 ○○○○○

「○○○」という 父が付けてくれた名前 「まどろむ」という  
言葉の意味がこめられている

「大きな夢を持ち実現させる力」という父の心の辞書での意味が  
今までは 自分から夢を あきらめてきたかもしれない  
だから これからは 名前に負けないように 自分に負けないように  
夢を夢だけで終わらせず 実現させるために 勇気をもっていきたい

これからも、声優となったMさんの活躍を陰ながら応援していきたいと思います。